

令和元年度事業計画（案）

1 基本方針

錦帯橋の世界文化遺産登録に向けて、県・市・関係団体が連携・協働して、錦帯橋の顕著な普遍的価値（OUV）及び真実性について、市民や県民はもとより、国内外の方と共有化する理解増進・情報発信の取組を展開する。

特に今年度は、5年に1度の健全度調査が行われるとともに、名勝錦帯橋保存活用計画の策定に取り組んでいるため、世界文化遺産登録で求められる保存管理についての理解増進を図る。

また、県、市及び関係団体それぞれが実施する施策等の総合調整を行う。

2 実施事業

(1) 啓発資材の作製ほか

目的	錦帯橋の顕著な普遍的価値の理解増進・情報発信
内容	・各種イベント等で配布する リーフレット日本語版、英語版の増刷各5,000部 ポスター及びグッズの作製 ・啓発イベント等で使用するPRパネルの制作

(2) 世界遺産セミナー（仮称）の開催

時期	令和元年8月（予定）
場所	岩国市民文化会館（予定）
目的	世界文化遺産登録で求められる錦帯橋の保存管理に関する理解増進
内容	健全度調査（強度試験）の実施に併せ、国内の世界文化遺産の保存管理に関する有識者を招聘し、世界文化遺産登録で求められる錦帯橋の保存管理について確認し、地元の理解増進を図る

(3) PRパネルの展示

時期	令和元年度内
場所	県庁、市役所、全国木橋サミット、錦帯橋芸術祭ほか
目的	市民や県民、観光客などに、錦帯橋の顕著な普遍的価値や魅力を情報発信
内容	啓発資材として制作したPRパネルを使い、県、市及び関係団体のイベントなどで展示を行う

(4) ワークショップの開催

時期	令和元年11月（錦帯橋芸術祭開催時）
場所	錦帯橋周辺
目的	地元の機運醸成を図るとともに、錦帯橋芸術祭に訪れた観光客などに錦帯橋の価値や魅力を発信
内容	錦帯橋芸術祭内で、市民・県民や観光客等が気軽に参加でき、錦帯橋の価値や魅力を体感できるワークショップを行う